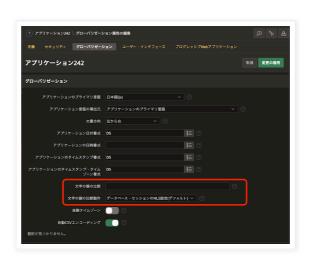
日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年8月3日木曜日

アプリケーション定義のNLS_SORTとNLS_COMPの設定

アプリケーション定義のグローバリゼーションに**文字の値の比較と文字の値の比較動作**という設定があります。



オンライン・ヘルプより、文字の値の比較がセッション・パラメータのNLS_SORT、文字の値の比較動作がセッション・パラメータのNLS_COMPに対応していることがわかります。また、この設定が適用されるのは、クラシック・レポート、対話モード・レポート、リスト・ビューの各リージョン、およびプラグインAPIのSOL問合せの実行に限定されています。

APEXのテンプレート処理自体がSQLおよびPL/SQLで記述されているため、セッション・パラメータのNLS_SORTやNLS_COMPを変更すると正常に動作しなくなります。そのため、これらのセッション・パラメータは、レポートなどのデータ・ソースとなるSELECT文の実行時に限定する必要があります。

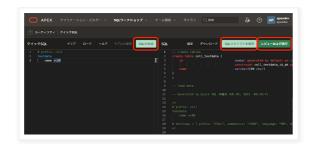
簡単なアプリケーションを作成して、これらの設定の効果を確認してみます。

以下のクイックSQLのモデルを使って表COLL_TESTDATAを作成します。

prefix: coll testdata name vc80

SOLワークショップのユーティリティのクイックSOLを開き、モデルから表を作成します。

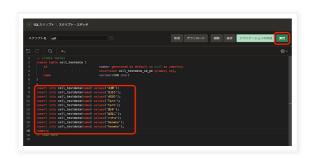
上記のモデルを記述し、**SQLの生成**、**SQLスクリプトを保存**、**レビューおよび実行**をクリックします。



レビューおよび実行をクリックすると、スクリプト・エディタが開きます。以下のテストデータを入力するINSERT文を、CREATE TABLE文の下に挿入します。

```
insert into coll_testdata(name) values('太郎'); insert into coll_testdata(name) values('たろう'); insert into coll_testdata(name) values('クロウ'); insert into coll_testdata(name) values('Taro'); insert into coll_testdata(name) values('taro'); insert into coll_testdata(name) values('花子'); insert into coll_testdata(name) values('はなこ'); insert into coll_testdata(name) values('ハナコ'); insert into coll_testdata(name) values('Hanako'); insert into coll_testdata(name) values('hanako'); commit;
```

実行をクリックします。

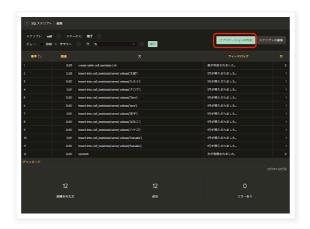


確認画面が開きます。**即時実行**をクリックします。



表COLL_TESTDATAが作成され、10行のテストデータが挿入されます。

アプリケーションの作成をクリックします。確認画面が開くので、そこでも**アプリケーションの作成**をクリックします。



アプリケーション作成ウィザードが開きます。

デフォルトで表COLL_TESTDATAのフォーム付き対話モード・レポートが作成されます。

名前に言語照合の確認と入力し、**アプリケーションの作成**をクリックします。

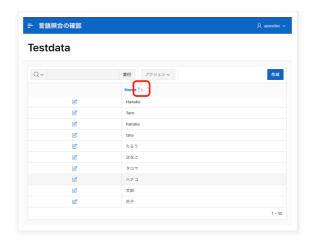


確認に使用するアプリケーションが作成されました。



アプリケーションを実行し、対話モード・レポートのページを表示します。Nameの昇順で行を並べます。

NLS_SORT、NLS_COMPのデフォルトは通常BINARYです。



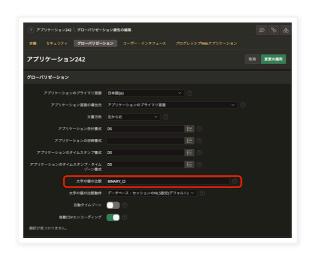
フィルタで**列**として**Name、演算子**として**次と類似**(LIKE演算子)、式として**hanako**を指定します。



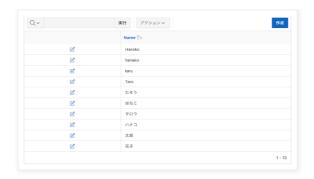
レポートにはNameがhanakoの行だけが表示されます。



アプリケーション定義のグローバリゼーションの文字列の比較をBINARY_CIに変更します。



対話モード・レポートでの表示順序がHanako, hanako, taro, TaroとCase Insensitiveに変わっています。



列Nameをhanakoでフィルタすると、hanakoの行だけが表示されます。



文字の値の比較動作を言語形式(Lingusticのことです)に変更します。



同じフィルタ条件で、hanakoとHanakoの両方が表示されるようになります。

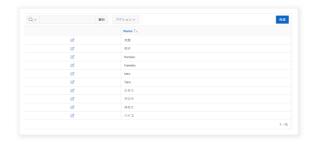


以上で**文字の値の比較**(NLS_SORT)と**文字の値の比較動作**(NLS_COMP)の設定の効果が確認できました。

文字の値の比較にJAPANESEを設定してみます。



辞書順にソートされます。



文字の値の比較にJAPANESE_Mを設定してみます。



英字の位置が変わります。



文字の値の比較にUCA0700_JAPANESEを設定してみます。

↑ アプリケーション242 \ グローバリゼー5	vョン属性の編集	@ % A
定義 セキュリティ グローバリゼー3	フョン ユーザー・インタフェース プログレッシブWebアプリク	
アプリケーション242		取消・変更の適用
グローバリゼーション		
アプリケーションのプライマリ言語	日本語(ja)	
アプリケーション言語の導出元	アプリケーションのプライマリ言語	
文書方向	左から右	
アプリケーション日付書式	DS	
アプリケーションの日時書式		
アプリケーションのタイムスタンプ書式	DS \$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
アプリケーションのタイムスタンプ・タイム ゾーン書式	DS ₽≣ ⊙	
文字の値の比較	UCA0700_JAPANESE	0
文字の値の比較動作	データベース・セッションのNLSB(定(デフォルト) ∨	
自動タイムゾーン	○ ◎	
白動CSVエンコーディング	(9	
翻訳が見つかりません。		
·	·	

結果は以下になりました。



表の列に言語照合を設定する方法については、こちらの記事で紹介しています。

アプリケーション定義による設定は、レポートのデータ・ソースなどに限定されているとはいえ、 アプリケーション全体に影響があります。そのため、かなり小さなアプリケーションでないと使用 は難しいように思います。

今回作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。表COLL_TESTDATAの作成やテスト・データをインストールするスクリプトも含んでいます。

https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/nls-sort-and-nls-comp-sample.zip

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: <u>10:17</u>

共有

ホーム

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。 Powered by Blogger.